

平成19年度

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)

夢を育むe-学生支援

ITシステムと個別担任制の連携による
多様な学生へのきめ細かな学生支援



自然と調和するテクノロジーの発展を目指して

国立大学法人

北見工業大学



夢を育むe-学生支援

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
ITシステムと個別担任制の連携による多様な学生へのきめ細かな学生支援

この学生支援プログラムは文部科学省の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）」に応募し、特に優れた取り組み（Good Practice）として選定されたものです。
(実施期間：平成19年度～平成22年度)

北見工業大学では、学生が快適で充実した学生生活を送り、社会での活躍に向け、それぞれが大きな『夢』を持って卒業していくために、ICT（情報通信技術）を活用した学生支援に取り組んでいます。

1 全学・全教員で個別担任制を平成20年度から実施。教員は数人の学生を担当し、迅速できめ細かな修学指導などを行います。

2 学生の資質・能力・知識の多様化に対応するため、個々の学生の修学・生活状況などの多元的な情報を集約した、**電子ポートフォリオ**を教職員で共有し、修学の悩みや心の問題などに対して早期に適切な助言や指導を行います。

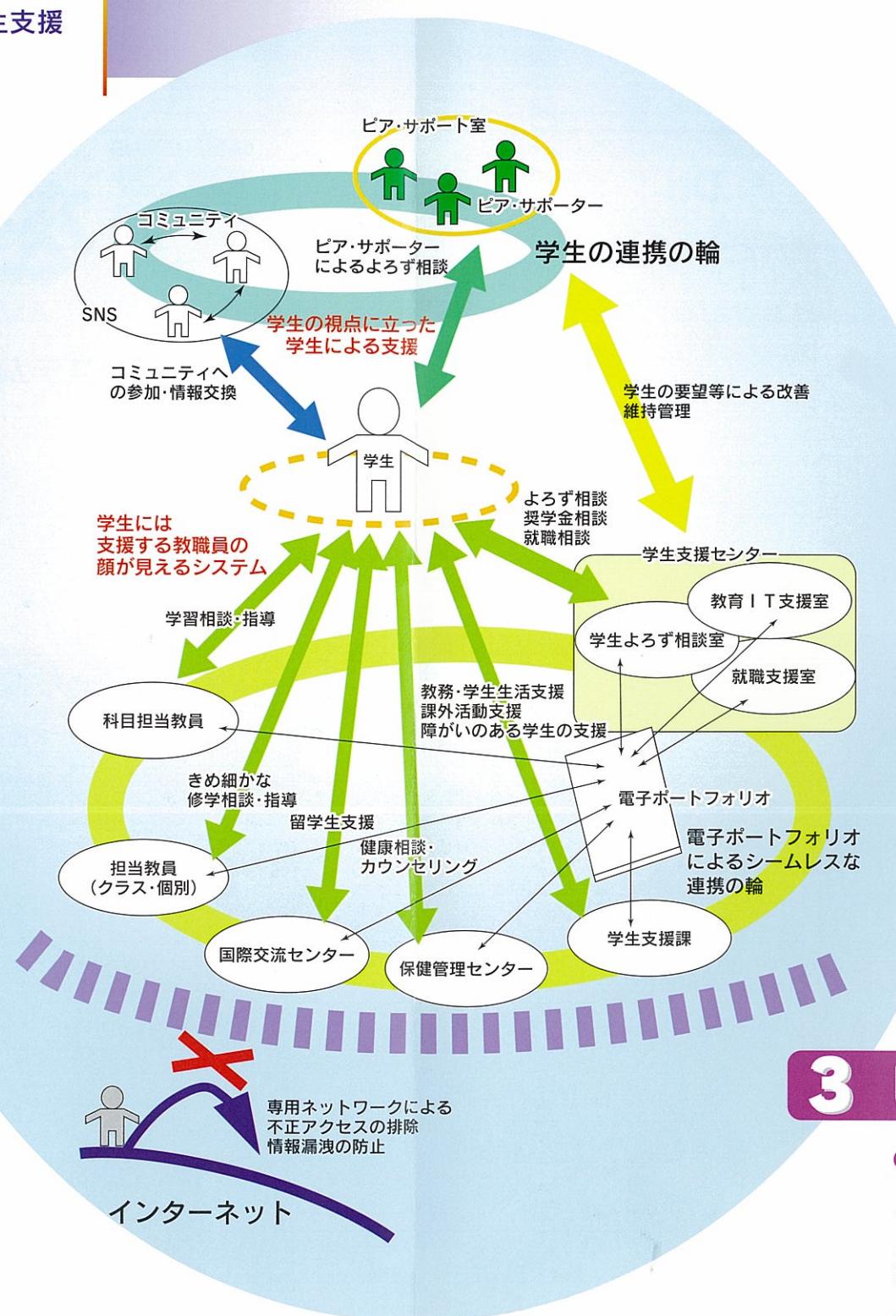
3 ピア・サポートとSNS（電子的な学生交流の場）を活用し、学生同士の相談や交流・情報交換を活発化させ、学生の自主的活動を高めることで、学生による学生のための環境づくりを支援します。

1)日本技術者教育認定機構:大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する機関。

2)ポートフォリオ:一人の学生がある領域において行った学習活動の集積で、当該学生の成長・内省・達成度を表示するもの。

3)ピア・サポート:学生が大学生活を送る上で遭遇する修学面・生活面での様々な問題を、学生同士で相談し合い、お互いに助け合う活動。

4)SNS:ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Social Networking Service)。同じ興味や関心を持つ人たちが、ネットワーク上で付き合いの輪を構築できるサービス。



1 個別担任制

● 迅速できめ細かな修学指導

全教員が1学年あたり5名程度の学生を担当し、修学指導およびキャリア形成に関する助言などをています。
(平成15年度より部分的実施)

● 新規な学年制の展開

平成20年度から、1年目(系に入学)→2年目(学科へ移行)→3年目(コースを選択)→4年目(研究室に配属)で構成される多段的教育・研究体制を開始します。個別担任制を実施して、高大接続や系から学科への移行を円滑化し、学科、コース、研究室での専門学習の深化を促します。

● JABEE対応のカリキュラム運用

個別担任制を通じて、JABEE(日本技術者教育認定機構¹⁾)対応カリキュラムの円滑な運用と学習支援を行います。

2 電子ポートフォリオ²⁾の構築

● 学生カルテの設計・開発

学生の修学・生活情報を集約化し、各教員が共有できる電子カルテを設計・開発し、個別面談などでの迅速かつ適切な助言や指導に生かします。

● 安全なネットワーク環境の整備

既設の光ファイバーケーブルを活用して、電子ポートフォリオシステム専用の回線を敷設し、安全で堅牢なネットワークを構築します。

● eラーニングシステムとの有機的連携

夢の実現に向け、修学途上にある学生に、達成度や到達目標を分かりやすく示すため、平成19年度より運用中のLMS(学習管理システム)内に蓄積される電子化された学習成果物(テスト、レポート、ポスターなど)と学生カルテを有機的に繋ぎます。

3 ピア・サポート³⁾とSNS⁴⁾

● 学生の視点に立った学生による支援

学生生活の悩みや心のかつとうを抱える学生にとって、友人や同僚(ピア)と話すことが問題解決への効果的な方法です。ボランティア学生によるピア・サポート活動を充実し、コミュニケーション力や社会性の発達を促します。

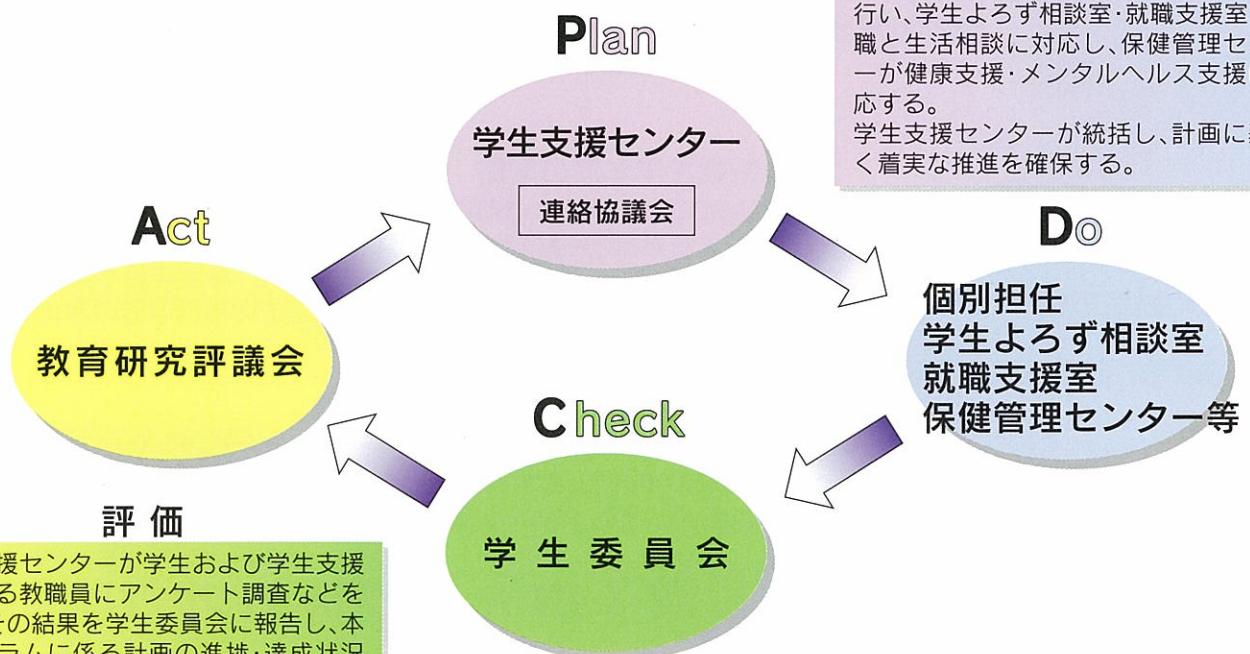
● 魅力的な大学生活環境の整備

大学生活は人生のなかで最も自由で創造性豊かな時期の1つです。学科・学年を越えて繋がりが深まると大学生活はより魅力的なものになります。電子的交流の場としてSNSを立ち上げます。幸い、本学入学者の地域は全国に分布していますので、興味深い交流が期待できます。

学生支援プログラム運用・推進・評価体制

運用・推進

クラス担任および個別担任が修学指導を行い、学生よろず相談室・就職支援室が就職と生活相談に対応し、保健管理センターが健康支援・メンタルヘルス支援に対応する。
学生支援センターが統括し、計画に基づく着実な推進を確保する。



学生支援センターが学生および学生支援に携わる教職員にアンケート調査などをを行い、その結果を学生委員会に報告し、本プログラムに係る計画の進捗・達成状況について点検・評価を行う。



問い合わせ先

国立大学法人

北見工業大学学生支援課

〒090-8507 北海道北見市公園町165番地

Tel. 0157-26-9172

Fax. 0157-26-9175

<http://www.kitami-it.ac.jp/>

